



同窓会会報

発行：獨協埼玉高等学校同窓会 発行人：玉山 栄一
〒343-0037 埼玉県越谷市大字恩間新田字寺前316
☎048-977-5441 FAX048-977-2031
URL <http://www.dokkyo-saitama.com/>



新たな一歩に向けて



校長 柳町 道廣

去る6月27日、第18回同窓会総会懇親会が例年通り開催されました。今年はいにくの悪天候もあつて例年に比べると若干参加者が少なめでありましたが、石井前校長、加倉井先生、大山先生、井原先生も駆けつけてくださり、大いに盛り上がった懇親会となりました。

中でも石井先生のご挨拶の中で、本校の基本姿勢に話が及び、「年がら年中弓を張りつめた生き方ではなく、メリハリのしっかりできる柔軟な人間の形成を目指すのが獨協埼玉の教育コンセプトであり、それが今でも変わらず維持されているのがうれい。」とおっしゃってくださったのが励みになりました。今春も、長い間本校の教育に貢献されたラウリー先生が定年退職なさり寂しい限りですが、今年

1年は後進への引き継ぎの意味で非常勤として活躍してくれていいます。いずれにしても、これまで本校の校風をしつかり繋いでくれた先輩諸兄、卒業生の期待を裏切ることのないよう、ぶれることのない基本理念を今後も脈々と保持し続けなければならぬという思いを新たにすることで

35周年を終え、今年

は次の40周年に向けて新たなスタートを切る年です。本校は、その記念事業を兼ねて、向こう一兩年を目標に、グランドの人工芝化を計画しています。他校に誇れる広大な敷地をさらに魅力あるものにすべく、なんぞか実現したいものです。その節は、皆さん、どうぞ足を運んでくださり、母校の発展に向けての勇姿に

対面してください。

同窓会



同窓会会長 玉山 栄一

「最近「同窓会の役割が薄くなつた」とふと思ふことがあります。母校である獨協埼玉も、昨年、開校35周年を迎え、同窓会の会員数も33期11,815名となり、幅広い年代の会になり、幅広になりました。どんなに時が流れても変わらないのが、母校で過ごした3年間、もしくは、6年間という月日とそこで出会った仲間との思い出です。同窓会も、どんなに時が流れても変わらずに、同窓生の親睦を深めるとともに、母校や後輩たちへの後援をしていく会であり続けることが大切なのではないかと思います。

横のつながりとして開催して、20歳を祝する「まほろばの会」、「ホームカミングデー」40歳になつたら学校へ行こう！も、皆様のご協力により、毎年、大いに盛り上がる会となつています。同窓

生にとつてはもちろん、先生方にとつても、懐かしいあの時に戻ること、在学中とはまた違った、横のつながりをもつていただければと思います。もうひとつは、学年の垣根を超えた、縦のつながりを強めるために、同窓会としてできることは何かを、さらに考えていきたいと思ひます。普段の生活のなかでは離れている同窓生を結びつけるために、ホームページの充実やインターネット動画配信など、今の時代だからこそできる情報提供を考えていきたいと思ひます。

これからも同窓会が「横」と「縦」のつながりを深める役として、同窓生の皆様のお手伝いができますよう、より一層活動に力を入れていく所存です。改めまして、今後とも同窓会にご理解ご協力をよろしくお願ひします。

会報発送停止について

平成10年10月に発足した獨協埼玉高等学校同窓会の会員は、33期11,815名となり、会報の発行や総会・懇親会の開催、ホームカミングデー・まほろばの会、在校生の支援など、さまざまな活動に取り組んでまいりました。同窓会の事業運営費として、1期17期の同窓生については、振込用紙を同封し、みなさまに会費納入をお願いしてまいりました。しかし、同窓生は毎年増加する一方、会費納入が伸び悩んでおり、会報の発送が事業運営費を圧迫する状況となっております。

そこで、卒業生の皆様に会費納入を改めてお願いするとともに、会費未納の会員の方々については会報の発送を段階的に停止させていただきますことと致しました。同窓生の皆様には趣旨をご理解いただくとともに、未納の会員におかれましては、会費の納入にご協力いただきますよう、重ねてお願ひする次第です。

今後とも、獨協埼玉高等学校ならびに同窓会の発展にご協力いただきますよう、よろしくお願ひ申し上げます。 獨協埼玉高等学校同窓会

玉山 栄一

※1期11期までは、今年度より発送を停止させていただきます。

スピーチコンテスト

獨協埼玉では、平成25年度から、高校1年生による「英語スピーチコンテスト」が行事となり、昨年の12月15日(月)に第2回「英語スピーチコンテスト」が行われました。生徒たちは、まず、英会話の夏休みの宿題で、「私が尊敬する人物」についてのスピーチ原稿を書き、2学期の英会話の授業で予選を行いました。その後、各クラスから22名の生徒が選ばれ、「本選」で英語スピーチを披露しました。定期考査の勉強などで忙しい中、一生懸命スピーチの練習を行い、本番に臨み、約500名の観衆の中、堂々とスピーチをしていました。練習の成果を出せた生徒にとっても、そうでなかった生徒にとってもとても良い経験になったことでしょう。

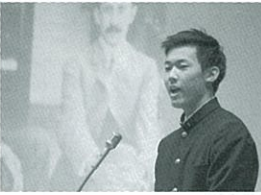
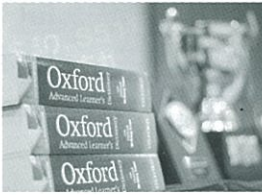
スピーチコンテストを終えて、普段見られないような生徒の一面をみることもできました。人前で話すことさえ慣れない中、英語を大衆の前で話す姿はとても輝いて見えました。スピーチをした生徒は、この経験を自信に変え、よりいそいそと勉学に励んでほしいと願っています。観衆の生徒も、仲間の頑張りに刺激を受け、意欲的に勉強することを期待しています。スピーチコンテストはまだ歴史の浅い行事です。この行事が代々引き継がれ、生徒たちにとって、仲間の頑張りを発見できるような行事になってほしいと願っています。獨協埼玉の英語教育のますますの発展に向け、力を入れていく所存です。これからも、応援のほどよろしくお願い致します。

優勝した生徒の発表原稿

Hi I am Koyo Yoshida.
I have a dream.
I want to be a pilot and fly all over the world.
When I was 5 years old, I got on an airplane for the first time.
I was impressed with a big machine flying in the sky.
And I thought "I want to steer this."
Since then, I have been dreaming of becoming a pilot all the time.
Well, do you know who invented an airplane?
I will tell you about the story.

It was the Wright brothers who developed an airplane
Wilbur Wright, the older brother was born in 1867.
Orville Wright, the younger brother was born in 1871.
They grew up in Dayton, Ohio in the United States of America.
They developed the airplane while working in a bicycle shop.
And they succeeded in the world's first man-powered flight in the Wright Flyer in 1903.
They founded the Wright Company in 1909.
And it became Lockheed Martin as we know it today.

"What is right now can be wrong years later. Conversely, what is wrong now can be right years later".
This is a wise remark by the Wright brothers.
I think that I believe these words and want to become an excellent pilot like the Wright brothers.
Thank you for listening.



国際交流

1 サンフランシスコ DOMINICAN UNIVERSITY 語学研修 (22日間)

募集対象は高校2年生で、毎年夏休みに実施。サンラファエル市内でホームステイをし、大学での習熟度別・多国籍ESL授業を受ける。週末には観光などのアクティビティも用意されている。添乗員と引率教員あり。



2 オーストラリア PENOLA CATHOLIC COLLEGE への訪問 (2週間)

募集対象は高1・2学年から計15名程度。隔年で実施のため、本年度の募集はなし。姉妹校生徒の本校訪問の際の受け入れ生徒を優先としたうえで、「選考」によりメンバーを決定。メルボルン市でホームステイ、ESL授業、現地校授業参加、3泊4日のシドニー研修も行う。



3 ドイツ STEINBART GYMNASIUM 研修 (2週間程度)

募集対象は高1～3学年から15名。隔年での実施で、11月中旬には募集開始。姉妹校生徒の本校訪問の際の受け入れ生徒を優先としたうえで、「選考」によりメンバーを決定。デュイスブルク市内でホームステイ。現地校の授業に参加。オランダやベルギーでの各種アクティビティも実施。



4 ニュージーランド LEVIN INTERMEDIATE SCHOOL 訪問 (2週間)

募集対象は中学3年生。毎年の実施を予定。11月より15名程度を募集し、L.I.Sの本校訪問の受け入れ生徒を優先としたうえで、「選考」によりメンバーを決定。レヴィン市でのホームステイ、ESL授業、現地授業参加、南島訪問など各種アクティビティを実施。



「体育祭」に想いをのせて

体育委員が結束し、よりよい体育祭にしようと2002年度から体育祭本部のスタッフTシャツを作成してきました。スタッフTシャツは、毎年体育祭の本部の3年生が、よりよい体育祭にしようとスタッフの意気込みを漢字一文字に表しています。STAFFの文字が逆さまになつているのは、裏方に徹し充実した体育祭を作り上げようという想いが込められています。

が良い形で表れた体育祭だっ
たと思います。

また、生徒だけではなく3年生の教員の結束もすごく感じられた体育祭でした。体育祭も受験もチームとなつて乗り越えようという教員の熱い決意が生徒にも伝わり、そうしたことも素晴らしい体育祭へと繋がつたのだと思います。

今年の思いが「凜」という言葉に表されていたように、今までの体育祭本部の思いがどのような漢字で表されているのかを調べてみました。調べた結果を見てみるとその年ごとの思いが詰まっているのがよくわかります。諸先輩方の思いをしっかりこれからも繋げていけるよう、そして生徒主体で創り上げる体育祭をこれからさらにすばらしいものにしてできるよう頑張りたいと思います。

2015年度は「凜」という字に決定をしました。今年の「凜」という字は、背筋を伸ばし、姿勢を正し、凜とした佇まいで臨むという想いを込めて決めました。今年の3年生は、行事に対し皆で協力し一生懸命準備をして自覚を持って取り組もうとやってきました。そういったこと

- | | | | |
|------|---|------|---|
| 2002 | 喝 | 2009 | 繫 |
| 2003 | 極 | 2010 | 迅 |
| 2004 | 獅 | 2011 | 愛 |
| 2005 | 舞 | 2012 | 激 |
| 2006 | 瞬 | 2013 | 煌 |
| 2007 | 響 | 2014 | 蓮 |
| 2008 | 欄 | 2015 | 凜 |



第36回 蛙鳴祭

9月19日(土)・20日(日) 10:00~15:00

蛙鳴祭ステージ タイムテーブル

第一体育館	9月19日(土)	第一体育館	9月20日(日)
10:30~11:30	高校演劇部	10:30~11:10	高校3年1組
11:30~12:25	コーラス部	11:10~11:40	ソングリーディング部
12:25~12:55	ソングリーディング部	11:40~12:35	コーラス部
12:55~14:10	吹奏楽部	12:35~13:35	高校演劇部
14:10~14:50	3年1組	13:35~14:50	吹奏楽部

同窓生の皆様、今年も蛙鳴祭の季節がやってまいりました。今年のテーマはDotta Magic!です。
中学生・高校生によるMagicalな企画が盛りだくさんです。ぜひ楽しんでいただけたらと思います。

入試ミニ説明会
(小ホールにて)

中学 9月19日(土) 11:00~12:00

高校 9月20日(日) 11:00~12:00 / 13:00~14:00

退職にあたって



ジョン・G・ラウリー

Has it really been 30 years? That sounds like a long time ... but where has it gone? Time is a great teacher, and fortunately it also allows children to grow, mature, and disappear into adulthood. I feel really honored to have been part of the teaching profession that teaches all the other professions.

I remember coming to Dokkyo Saitama with only chalk, blackboard, and a mind full of ideas; things to do to make the English language a useful and enjoyable tool to prepare students for the best that life can offer. I thought I was the teacher and you, the students were there to be taught. How wrong I was.

I have been privileged to have had in my classroom many, many fine young people over 30 years I have been learning how to become a better teacher. I thank all of you for teaching me how to teach. I look back now with fond memories of a

profession dedicated to assisting young people achieve their potential and finding the best in themselves.

I must have done something right, as I am now a part-time teacher here until the end of March next year. And as I leave Dokkyo Saitama, I will be taking many of you with me, the good, the bad, and the 'unruly. You will live on in my memories.

I want to pay tribute to my colleagues for their support, friendship and trust. I will always remember our shared laughter, our joys as well as our arguments. Thank-you for allowing me to be a Dokkyo teacher and not just a gaikokujin kazari.

I've been asked what I'm going to do after retirement. Well, I am learning Spanish at Dokkyo University. I am going to travel to places I've always wanted to go. I am going to read books that have been on my 'must read' list for years. I will garden, play with my grandchildren, enjoy building dioramas, and cycle here and there for as long as I can. I am still trying to find the best within me. It is an exciting on-going journey. Thank-you, one and all, for being my traveling companions along the way.

In short, I plan to LIVE long and prosper.

新しい風

新任教員紹介



佐々木 忠徳

世界の「どつたま」から

こんにちは。佐々木忠徳と申します。

4月から本校で理科(化学)を担当しています。今年、中1担任・陸上部担当です。これまで、公立の小学校(2年間)、中学校(19年間)にて勤めておりました。心機一転、獨協埼玉で教員生活の後半を充実させ、自己を高め、楽しい学園生活を送りたいと思っています。よろしくお願いたします。

獨協埼玉中学高等学校での生活も4ヶ月ほど経過しました。明るい生徒が多く、廊下ですれ違うときも挨拶をしてくれる生徒が多くて、うれしく思います。共学の良さ、男子校出身の私には新鮮にうつっています。私も、ここでお伝えしていきます。

さて、「何かの目標に向かって自分を高める」ことを励行、実践している生徒も多く見受けられ、生徒から学ぶことも

多い日々です。朝7時過ぎから食堂で勉強している生徒、休日でも午後の部活動だけでなく午前中から勉強している生徒、昼休みや終礼後に質問にきて問題解決をする生徒。行事にも精一杯取り組み、よりよい思い出にしようと頑張っている生徒。等々。

一度しかない中学・高校の6年間を、単なる通過点ととらえずに真剣勝負の積み重ねで未来を切り開いていく姿、今後も応援していきたいと思えます。

教室が2階(中1)からスタートして、3階↓4階と上がり、後半3年間で戻ってくるという6年間の学校生活。中1と高3が一緒の2階は、青年期のめざましい心身の成長を感じさせてくれます。

また、高1の授業(化学基礎)を担当しておりますが、高校からの外進生と中学からの内進生とで、クラスの雰囲気の違いが、とりわけ、内進生は「馴染んでいる」「授業と生活のパターンができています」と感じ、外進生は「育つて」と感じ、場合によっては「ゆるんでいる」ように見えることがあります。

教職員の方々も明るく親切に多くのことを教えてくださり、大変ありがたいと思っております。

生徒へも、教えるべきものは教えつつ、その中でも「自ら考え判断する」場面を作り出して生徒の成長を促す、生徒を信じる指導をされている姿が多くあり、一貫したぶれない指導の信念を感じます。中でも、本校卒業生でもある先生方は、強い母校愛で生徒(そして後輩)に接し、そして鍛えている。教員としてなかなか巡りあえない瞬間を日々刻まれているのだな...と思っております。

私の小中学校の同級生にも、本校出身で、私よりも素晴らしいしき人格の者がおります。お互いの子供が小学校で同じクラスになったこともあり、近況報告もする関係でしたが、私が4月から勤務することを告げると、彼は私に言いました。「後輩たちを頼むよ」と。

この一言から、卒業された方々がいかにも「どつたま生活」を送り、現在も誇りをもって生活しているのが伝わりました。関係する方々のおおいを大切に、教員としてやれることを精一杯実践していきたいと思えます。

なつかしき **あの日** 第16回
軽音楽同好会

前任の小池先生のご退職後、後を引き継がせて頂き今年で3年目となります。「なつかしきあの日」というコーナーであるにも関わらず、顧問となつて年数が浅いため、過去の軽音の様子に分らないというお粗末な状態です。従いまして、「十年の歩み 獨協埼玉高等学校」と「25年の歩み 獨協埼玉中学高等学校」と2つの記念誌を調べてみました。さて、軽音楽同好会の創設はなんと獨協埼玉が開校した初年度の1980年(昭和55年)であるとのこと。つまり最古参の同好会ということになります。またその10年後である1990年平成4年)の活動の様子はというと「約50人の会員が4〜5人のメンバーでバンドを組み、週3回のスタジオを使用して練習する。1年間で文化祭を含め2〜3回のコンサートを行う。ジャンルは自由。」(十年の歩み 獨協埼玉高等学校より)とのこと。すなわかなか精力的に活動していたようですね。1990年といえはちょうどバンドブーム盛り盛りで、イカ天が流行していた時代です。おそらく当時の軽音の皆さんも、その影響下にあったのではないかと思います。

さて、私が獨協埼玉に奉職したのは、2003年。今から12年前となります。当時の軽音はバンドブームも去り、少し元気がなかったように感じられました。校内でのライブは文化祭だけだったように記憶しています。私が初めて卒業させた26期生(2008年度の3年生は3名で、会員数も減少傾向であったようです)。

それから10年近く経った現在の軽音はいいですと、会員数61名、バンド数20の大所帯です。特徴は女の子が多いということです。61名中女子が46名です。現3年生に至つては全員女子です(その傾向は



数年前から続いておりまして、アニメ「けいおん」の影響が強いのではないのでしょうか。加えて軽音の生徒は真面目な子が多いです。生徒会のメンバーの大半が軽音です。また国立公立志望の生徒もいます。真面目で女の子が多い軽音。軽音といえは不良の巣窟(というイメージ)はいまや見る影もありません。活動内容は年3回新歓、1学期末、3学期末の小ホールでの定演ライブに、伝統的文化祭ライブ。文化祭は狭い教室での熱気ムンムンが変わらずですが、それに加えて念願の小ホールでもやれるようになりました。広い会場での3年生最後のライブ。感動もひとしおです。ちなみにライブ以外の普段の活動もバリエーションを取り入れ、同級生のみならず、先輩後輩との結びつきも強くしています。

また校外での活動も盛んです。昨年度から埼玉県高等学校軽音楽連盟に参加しまして、初年度にして県大会出場を果たし(ちゃんと予選もあるのです)委員長特別賞を頂きました(審査員にはゴダイゴのタケカワユキヒデ氏もいます)。バンド名は Naked Samurai Boy。演奏曲は Red Hot Chili Peppersの Give It Away。あの大会の盛り上がりは未だに軽音楽連盟の語り草になっています。ヴォーカルの石渡君の振りやタケカワユキヒデ氏も反応してくれていました。ちなみに今年も県大会予選の会場になりました。1、2年生を中心に会場設営運営を行い、出場した3年生バンドを精一杯応援しました。

現在の目標は部活動化です。生徒一同頑張っています。OB、OGの皆さん、文化祭にいらした際には、是非軽音のライブにお越し下さい。熱い声援をよろしくお願いします。

中山賢

教育実習を終えて

●小川 大貴

この実習を通して私が学んだことはたくさんあります。その中の一つが「困っている時こそ他人と話す」です。人というのは困ったことがあると視野が狭くなりがちです。かくい私もそうでした。私は授業が上手く出来ず一人て悩んでいました。しかし一人で悩んでもいい考えは浮かびませんでした。そこでいろいろな先生方に相談したところ、あんなま一人て考えていても浮かばなかったであろう助言をたくさん頂くことができました。

●武藤 彩佳

3週間の教育実習を終えて、教師という職業の大変さを改めて感じました。初めに、教壇に立ち、教師の立場の私は、どれも生徒だった頃のように感じていました。また、一枚のプリントに一時間の授業を先生方の苦勞や思いがたくさん詰まっているということにようやく気付くことができました。本当に私自身を大きく成長させることができたと感じました。いつか、教師

となり、獨協埼玉へ恩返しできたらと思います。

●山上 万由子

この度、社会科で教育実習を行わせていただきました。最初はHRも授業もなかなか上手いきませんでした。が、ご指導を頂く中で少しずつ成長することができました。そして、生徒に「授業が分かりやすかった」と言ってもらえた時はとても嬉しかったです。

●木本 健人

3週間平均睡眠時間3.5時間でした。とても辛かったです。日々で、正直、教育実習がこんなにも大変なものだとは思いませんでした。しかし、その辛さを上回る大きな収穫を数多く得る事ができたのも事実です。中でも、生徒と過ごした授業ホームルーム部活動の時間は掛け替えのないものとなりました。お世話になりました先生方、実習関係者の方々、この場を借りて心から御礼を申し上げます。誠にありがとうございました。



●濱島 大起

5月下旬、私は自身の通っていた学び舎にも一度通ったことになりました。教育実習では、迷惑をかけてしまうことばかりでしたが、その反面と云うことは何ですが、非常に貴重な経験になったことは確かであり、教員という仕事を垣間見る時間を与えてくれた母校には感謝が絶えません。教壇に立ち、見、知った多くのことを、これからの自分に生かしていけるように、尽力したいと思います。

INFORMATION

入試

中学入試

- ◆募集 男女 160名
 - ◆学校説明会
 - 第1回 9月27日⑩ 10:00～
 - 第2回 10月25日⑩ 10:00～
 - 第3回 11月22日⑩ 10:00～
 - 第4回 12月12日② 10:00～
 - ◆入試
 - 第1回 1月11日⑨(祝)
 - 第2回 1月12日④
 - 第3回 1月18日⑨
- ※本校と大宮会場の2会場で実施(第1回)

高校入試

- ◆募集 男女 160名
 - ◆学校説明会
 - 第1回 9月27日⑩ 13:30～
 - 第2回 10月25日⑩ 13:30～
 - 第3回 11月22日⑩ 13:30～
 - 第4回 12月12日② 13:30～
 - ◆入試
 - 第1回 1月22日⑤
 - 第2回 1月23日②
- ※詳細は本校HPでご確認ください。



同窓会役員人事紹介

(括弧内数字は卒業期)

幹 事		事務局	理 事	
五十嵐 玄 (21)	武井みどり (20)	◆事務局総務	◆事務局局長	◆会計監査
柳沼 彬 (30)	中前 千佳 (29)	高田 晶子 (10)	小平 茂 (5)	友野 行晴 (1)
	加美山 紘子 (29)			佐藤 高士 (21)
	芳賀 大輝 (28)			
	宮原 俊晴 (33)			
	宮田 樹弥 (33)			
	土屋 建輝 (33)			
	石田 えみり (33)			
	山田 優太 (33)			
	板倉 晃希 (28)			
	萩野 克真 (27)			
	高橋 知美 (27)			
	市原 泉岐 (27)			
	池田 翔 (27)			
	池永 佳央 (27)			
	安藤 慶森 (27)			
	勝股 修平 (26)			
	山田 敬二郎 (26)			
	上野 駿介 (32)			
	中村 朱音 (32)			
	加藤 果林 (32)			
	今井美月夏 (33)			
	高野 蘭 (33)			
	中村 瑞生 (33)			
	土澤 成 (33)			
	鈴木 通 (28)			
	宮田 優太 (33)			
	山田 樹弥 (33)			
	土屋 建輝 (33)			
	宮原 俊晴 (33)			
	加美山 紘子 (29)			
	芳賀 大輝 (28)			
	中村 里菜 (28)			
	鈴木 通 (28)			
	板倉 晃希 (28)			
	萩野 克真 (27)			
	高橋 知美 (27)			
	市原 泉岐 (27)			
	池田 翔 (27)			
	池永 佳央 (27)			
	安藤 慶森 (27)			
	勝股 修平 (26)			
	山田 敬二郎 (26)			
	上野 駿介 (32)			
	中村 朱音 (32)			
	加藤 果林 (32)			
	今井美月夏 (33)			
	高野 蘭 (33)			
	中村 瑞生 (33)			
	土澤 成 (33)			
	鈴木 通 (28)			
	宮田 優太 (33)			
	山田 樹弥 (33)			
	土屋 建輝 (33)			
	宮原 俊晴 (33)			
	加美山 紘子 (29)			
	芳賀 大輝 (28)			
	中村 里菜 (28)			
	鈴木 通 (28)			
	板倉 晃希 (28)			
	萩野 克真 (27)			
	高橋 知美 (27)			
	市原 泉岐 (27)			
	池田 翔 (27)			
	池永 佳央 (27)			
	安藤 慶森 (27)			
	勝股 修平 (26)			
	山田 敬二郎 (26)			
	上野 駿介 (32)			
	中村 朱音 (32)			
	加藤 果林 (32)			
	今井美月夏 (33)			
	高野 蘭 (33)			
	中村 瑞生 (33)			
	土澤 成 (33)			
	鈴木 通 (28)			
	宮田 優太 (33)			
	山田 樹弥 (33)			
	土屋 建輝 (33)			
	宮原 俊晴 (33)			
	加美山 紘子 (29)			
	芳賀 大輝 (28)			
	中村 里菜 (28)			
	鈴木 通 (28)			
	板倉 晃希 (28)			
	萩野 克真 (27)			
	高橋 知美 (27)			
	市原 泉岐 (27)			
	池田 翔 (27)			
	池永 佳央 (27)			
	安藤 慶森 (27)			
	勝股 修平 (26)			
	山田 敬二郎 (26)			
	上野 駿介 (32)			
	中村 朱音 (32)			
	加藤 果林 (32)			
	今井美月夏 (33)			
	高野 蘭 (33)			
	中村 瑞生 (33)			
	土澤 成 (33)			
	鈴木 通 (28)			
	宮田 優太 (33)			
	山田 樹弥 (33)			
	土屋 建輝 (33)			
	宮原 俊晴 (33)			
	加美山 紘子 (29)			
	芳賀 大輝 (28)			
	中村 里菜 (28)			
	鈴木 通 (28)			
	板倉 晃希 (28)			
	萩野 克真 (27)			
	高橋 知美 (27)			
	市原 泉岐 (27)			
	池田 翔 (27)			
	池永 佳央 (27)			
	安藤 慶森 (27)			
	勝股 修平 (26)			
	山田 敬二郎 (26)			
	上野 駿介 (32)			
	中村 朱音 (32)			
	加藤 果林 (32)			
	今井美月夏 (33)			
	高野 蘭 (33)			
	中村 瑞生 (33)			
	土澤 成 (33)			
	鈴木 通 (28)			
	宮田 優太 (33)			
	山田 樹弥 (33)			
	土屋 建輝 (33)			
	宮原 俊晴 (33)			
	加美山 紘子 (29)			
	芳賀 大輝 (28)			
	中村 里菜 (28)			
	鈴木 通 (28)			
	板倉 晃希 (28)			
	萩野 克真 (27)			
	高橋 知美 (27)			
	市原 泉岐 (27)			
	池田 翔 (27)			
	池永 佳央 (27)			
	安藤 慶森 (27)			
	勝股 修平 (26)			
	山田 敬二郎 (26)			
	上野 駿介 (32)			
	中村 朱音 (32)			
	加藤 果林 (32)			
	今井美月夏 (33)			
	高野 蘭 (33)			
	中村 瑞生 (33)			
	土澤 成 (33)			
	鈴木 通 (28)			
	宮田 優太 (33)			
	山田 樹弥 (33)			
	土屋 建輝 (33)			
	宮原 俊晴 (33)			
	加美山 紘子 (29)			
	芳賀 大輝 (28)			
	中村 里菜 (28)			
	鈴木 通 (28)			
	板倉 晃希 (28)			
	萩野 克真 (27)			
	高橋 知美 (27)			
	市原 泉岐 (27)			
	池田 翔 (27)			
	池永 佳央 (27)			
	安藤 慶森 (27)			
	勝股 修平 (26)			
	山田 敬二郎 (26)			
	上野 駿介 (32)			
	中村 朱音 (32)			
	加藤 果林 (32)			
	今井美月夏 (33)			
	高野 蘭 (33)			
	中村 瑞生 (33)			
	土澤 成 (33)			
	鈴木 通 (28)			
	宮田 優太 (33)			
	山田 樹弥 (33)			
	土屋 建輝 (33)			
	宮原 俊晴 (33)			
	加美山 紘子 (29)			
	芳賀 大輝 (28)			
	中村 里菜 (28)			
	鈴木 通 (28)			
	板倉 晃希 (28)			
	萩野 克真 (27)			
	高橋 知美 (27)			
	市原 泉岐 (27)			
	池田 翔 (27)			
	池永 佳央 (27)			
	安藤 慶森 (27)			
	勝股 修平 (26)			
	山田 敬二郎 (26)			
	上野 駿介 (32)			
	中村 朱音 (32)			
	加藤 果林 (32)			
	今井美月夏 (33)			
	高野 蘭 (33)			
	中村 瑞生 (33)			
	土澤 成 (33)			
	鈴木 通 (28)			
	宮田 優太 (33)			
	山田 樹弥 (33)			
	土屋 建輝 (33)			
	宮原 俊晴 (33)			
	加美山 紘子 (29)			
	芳賀 大輝 (28)			
	中村 里菜 (28)			
	鈴木 通 (28)			
	板倉 晃希 (28)			
	萩野 克真 (27)			
	高橋 知美 (27)			
	市原 泉岐 (27)			
	池田 翔 (27)			
	池永 佳央 (27)			
	安藤 慶森 (27)			
	勝股 修平 (26)			
	山田 敬二郎 (26)			
	上野 駿介 (32)			
	中村 朱音 (32)			
	加藤 果林 (32)			
	今井美月夏 (33)			
	高野 蘭 (33)			
	中村 瑞生 (33)			
	土澤 成 (33)			
	鈴木 通 (28)			
	宮田 優太 (33)			
	山田 樹弥 (33)			
	土屋 建輝 (33)			
	宮原 俊晴 (33)			
	加美山 紘子 (29)			
	芳賀 大輝 (28)			
	中村 里菜 (28)			
	鈴木 通 (28)			
	板倉 晃希 (28)			
	萩野 克真 (27)			
	高橋 知美 (27)			
	市原 泉岐 (27)			
	池田 翔 (27)			
	池永 佳央 (27)			
	安藤 慶森 (27)			
	勝股 修平 (26)			
	山田 敬二郎 (26)			
	上野 駿介 (32)			
	中村 朱音 (32)			
	加藤 果林 (32)			
	今井美月夏 (33)			
	高野 蘭 (33)			
	中村 瑞生 (33)			
	土澤 成 (33)			
	鈴木 通 (28)			
	宮田 優太 (33)			
	山田 樹弥 (33)			
	土屋 建輝 (33)			
	宮原 俊晴 (33)			
	加美山 紘子 (29)			
	芳賀 大輝 (28)			
	中村 里菜 (28)			
	鈴木 通 (28)			
	板倉 晃希 (28)			
	萩野 克真 (27)			
	高橋 知美 (27)			
	市原 泉岐 (27)			
	池田 翔 (27)			
	池永 佳央 (27)			
	安藤 慶森 (27)			
	勝股 修平 (26)			
	山田 敬二郎 (26)			
	上野 駿介 (32)			
	中村 朱音 (32)			
	加藤 果林 (32)			
	今井美月夏 (33)			
	高野 蘭 (33)			
	中村 瑞生 (33)			
	土澤 成 (33)			
	鈴木 通 (28)			
	宮田 優太 (33)			
	山田 樹弥 (33)			

11期生ホームカミングデー報告

11期生のホームカミングデーには82名の卒業生が母校に集結しました。

卒業以来という同級生もいましたが、22年前の記憶がよみがえりました。お世話になった先生方も出席され、同級生達と当時の話に花が咲き、あっという間の2時間となりました。その後も、2次会3次会と地元せんげん台で盛り上がり、良き同級生に恵まれたことを実感しました。

当日、都合つかず不参加となった方も、同窓会開催の際は是非ご参加ください。

今秋の12期生も盛り上がって獨玉魂みせてください!

(11期生 東原 宣之)



会計
報告

(収入)
¥2,000 × 82人
= ¥164,000
計 ¥164,000

(支出)
食事代 ¥107,228
通信費・事務費 ¥14,361
花束 ¥12,528
菓子折り ¥6,757
計 ¥140,874

(残金)
¥23,126
※尚、残金は、
31期生まほろばの会に
寄付させていただきます。

S50、S51年
生まれ

祝! 2nd成人式!

12期生ホームカミングデー開催!!

今年40歳を迎える12期生の皆さん(S50、S51年生まれ)、お待たせしました!! 同窓会「ホームカミングデー」の開催です。20歳が大人の仲間入りの歳ならば、40歳は本当の大人として輝く歳です!

そんな記念すべき年に母校で、懐かしい仲間やお世話になった先生方と思いに残る1日を過ごしましょう!

一人でも多くの参加をお待ちしております!!

日時 平成 27年 10月 10日(土)

- 一次会/受付13:30 開会14:00
獨協埼玉中学高等学校 小ホール
- 二次会/18:00頃～
せんげん台駅周辺を予定
(詳細は後日、ブログ等でお知らせ致します)



実行委員/刀襦誠也 赤松愛子 阿部菊代 宇都啓二 太田真紀 苅谷朋美 黒田由紀子
後藤聡志 近藤尚之 雑賀友美 重田 純 田村マコ 野澤佳代(旧姓表記)

詳細は
こちら!!

12期生ホームカミングデーブログをご覧ください!!

専用ブログ

<http://dottama1994.seesaa.net/>

専用メール

dokkyosaitama.1994.12th@gmail.com

Facebookページ 「獨玉!」

